

前田稔廣先生 ご略歴

出身大学 埼玉医科大学卒

医療法人 前田内科 院長

日本医科大学 救命救急センター科入局／日本医科大学救命救急センター科助手

聖隷浜松病院／会津中央病院／海上保安大学校非常勤医員

鹿児島大学第二内科院外研修生／鹿児島市医師会病院臨床研修医

特技；アメリカフットボール 趣味音楽／ゴルフ

専門医；日本救急医学会専門医／日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医／認定産業医／日本臨床内科医会専門医

所属学会；日本救急医学会／日本内科医学会／日本呼吸器学会／日本プライマリ・ケア連合学会／日本臨床内科学会

・H08年4月鹿屋市医師会理事。

・H10年4月産業保健担当理事（地域産業保健センター開設）会社健診を中心とした産業医活動 鹿屋方式

・H12年4月学校保健担当理事（小児生活習慣病教室立ち上げ）

・H20年鹿屋市医師会救急医療担当理事

・H23年鹿屋市医師会副会長／大隅広域夜間急病センター開設、センター長

・H26年－H30年 鹿屋市医師会会長（地域包括支援センター開設）

・R2.4 鹿屋市医師会コロナ対策委員会 委員長

医師会産業医関連

H12年9月第22回産業保健活動推進全国会議シンポジスト（日本医師会館）会社健診を中心とした産業医、鹿屋方式発表

H12年2000.9 第23号）地域産業保健センターの活性化 座談会に招待 労働福祉事業団医監高田

産業医学ジャーナル Vol.24 （2000.12）地域産業保健センターの活動状況

H13年2001.1 第75回日本産業衛生学会（神戸）講演

H15年2002.4 第102回九州医師会医学会産業医学会 講演

H15年10 香川県医師会 第8回地域産業保健推進検討会 講演

H16年2003.10 鹿児島産業保健推進センター産業保健地域担当相談員就任

R1.10 鹿児島県公衆衛生功労者表彰

医師会救急関連

日本救急医学会関東地方会 （1990） 救命救急センターにおける小児救急疾患の統計的観察

日本救急医学会第36回2008 疲弊する医療過疎地域における小児救急「鹿屋方式」の成果

日本臨床救急医学会2013.7 過疎地域における小児救急を中心とした内因性一次救急のシステムの構築

日本救急医学会第 42 回 2014 過疎地域の小児救急 進化する鹿屋方式 その他
第七回鹿児島臨床救急研究会 2016 救急における地域連携
共著
日本救急医学会第 43 回 2015 広域夜間急病センターが地域に果たす役割—大隅地域 3 市 5 町
の取り組み 主大内 元 共
日本救急医学会第 44 回 2016 広域夜間急病センターにおける高齢者救急の実態 主大内
元 共